

体日 日曜 日
第一月 日 二五
第二月 日 二五
第三月 日 二五
第四月 日 二五
第五月 日 二五
第六月 日 二五
第七月 日 二五
第八月 日 二五
第九月 日 二五
第十月 日 二五
第十一月 日 二五
第十二月 日 二五

座講識常
メーデーは五月一日に
行ふ労働者の国際的祭
日、一八八六年の當日
アメリカの労働者が八
時間労働の権利を得、
一八八九年第二インタ
ーナショナル大会で示
威運動日に決めたもの

銀行の豫金が殖えて 貸付がダンク減る

今二月末現在の豫金と貸付金 八百六十七萬圓の遊資

平町各銀行の今春に於ける金融状態は昨年の同期に較べると歴々好轉の跡を見せて毎月静かな歩みではあるが一歩々々堅實な歩調を進めて地方株の如きも前年に比すれば非常な騰貴を示してゐる此の情勢は縣下各地共に同様らしく縣内銀行の去る二月末現在豫金總額は一月に比較し二百四十萬圓を増加し之れと反對に貸付額は三百二十萬圓を減少し更に昨年十二月末現在に較べると豫金四百萬圓増、貸

坑内排水の有毒問題 玉川村いよく本腰

今日野崎村長等監督局に陳情 来る二十一日炭鑛と會見

石城郡玉川村に於て同村の瀧に供する藤原川に流下する湯本町入山炭鑛坑内の排水が農作物に被害あるを唱ひてゐることは屢報の如くであるが同村では右に關して昨十九日午前十時村會を開き金一千圓の調査費（野崎村長の立替支出）を置いて自ら水質の調査に當る一方に於ては仙台鑛山監督局に適當の處置を請ふことと決し今二十日野崎村長並に村議選藤原三郎、高萩儀平

其の案件

平町會は来る二十三日午前十時（昨報午後一時は誤り）招集の筈であるが案件は左記の如

石城中堅農民講習 第六回修得七〇名

石城郡中堅農民講習會は此の程期間一ヶ月の講習を終了したが今第六回修得者は合計七十名で内精勤者は三十八名その氏名は左の如くである

- 精勤者 小野儀次 山田秋山 勝光 川部野田利水 同 小野彌八 飯野白土武雄 同 久野元忠 同 澤田信一 同 夏井鈴木敏 同 高木良平 同 高久鈴木四郎 鹿島箱崎惣右工門 磐崎佐川儀兵衛 植田古川榮 湯本小野彌市 同 永山勝雄 同 村上壽一 同 春山基 内郷生田傳一郎 同 若松一郎 同 高木英司 同 赤井平澤定男 同 小川金男 同 大平平 永戸野口元治 同 津澤松忠 大野園部清太 同 平澤永井良一 同 小野忠佐 同 矢吹一夫 同 吉田甚恵 同 荒川勤 草野佐藤 同 戸田彦若 大浦古市房太郎 四倉遠藤重信 入遠野渡邊一 江名中田仙

視察團體の東道役 前橋市議旅にたふる

石城視察團百二十名の發起者 住吉屋で腦益血を起し

前橋市の石城視察團百二十名は豫定の如く昨十九日午後六時二十二分平沼直ちに同町平館に於ける平町の歡迎會に臨み藝妓の手踊その他記念品を贈られ更に磐城入山兩炭鑛から寄贈された瓶酒などの款待一行は非常な満足で今二十日午前七時炭鑛視察から茨城縣助川町の日立鑛山見學に移つたが同一行の東道役である前橋市々會議員同市小柳町材木商平方嘉平（豊）氏は住吉屋本店旅館方敷敷内午後九時

郡農主催の 共進會

石城郡農會主催の農事獎勵共進會は堆肥製造及び大麥、菜種、紫雲英の收穫成績に對して郡内一圓を贈與中であつたが左記優良者を決定し明二十一日午後一時平町郡農會樓上に於て之れが褒賞授與の式を行はれると

- 堆肥一等 小野儀平（川部）同 推肥一等 小野儀平（川部）同 佐藤正（錦） 二等 山崎正（内郷）同 黒木英康（鹿島）同 安藤藤（勿來） 三等 楠田吉太郎（上遠野） 佐藤忠雄（草野） 木田安太郎（好間） 菅波沙（神谷） 根本軍平（赤井） 和田孝之助（平澤） 佐川勇太郎（神谷） 片寄爲義（同） 小野（一川部） 佐藤男松（大野） 楠田權十郎（勿來） 新藤利平（治神谷） 山下竹千代（内郷） 小野元良（平澤） 江尻英晴（草野） 吉田文助（平澤） 吉田榮一郎（大野） 蛭田喜一（川部） 平第二小學校生吉成貞子、廣

公園賣店の 申込受付

平町公園櫻花期に於ける園内臨時賣店敷地貸付は来る二十七日限り希望申込みを受け三十日午後二時抽籤決定の筈であるが借地料は前年と同じく左記の如くで期間は四月十日より廿四日迄の十五日間申込みには三圓の保證金を要し當籤者にはこれを借地料に充當し籤の當らなかつた者は返還するが途中取消者には詳保證金を返さぬ事になつてゐる

- 一等地六ヶ所 料金各廿圓廿五錢 二等地二ヶ所 各十五圓 三等地四ヶ所 各十一圓廿五錢 三等地一ヶ所 五圓 坂本金作（錦） 以上

慰問袋

平第二小學校の 四嬢から して居る由ですが、廣大な藤原川の魚族全部を斃死させるのは少量の藥品では到底駄目なことであつて若し失れが假りに事實とすれば平警察署が何等取調べもせず放任して居る筈がないと思ふのであります、

六、藤原川本流と入山炭鑛の排水の流下する湯川の合流點から萬年堰までの中間

澤好枝、野田鈴子、永山みよ子さん四名は何れも自發的に滿州派遣軍への慰問として、ルク及び氷砂糖その他六點入の二と袋を今二十日平町役場に移送方を託した

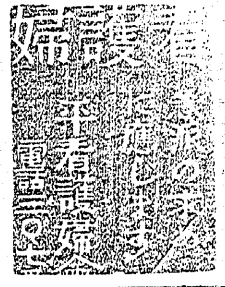


馬鈴薯の栽培法

六、肥料、馬鈴薯に對する反當三要素量の石城分場の標準を記すれば左の如くである
 窒素三貫六百匁 磷酸二貫五百匁 加里三貫五百匁
 三要素の内察察の効果極めて大なるものであるが續いて加里の効果も大なるものである特に加里は馬鈴薯の如き澱粉を増加せしめるためには缺くべからざるものである、本縣に於ては三要素の量は窒素最も多く施し續いて加里磷酸の順に施用すべきである、肥料の種類としては堆肥、大豆粕、過磷酸石灰、木灰、人糞尿等が適當である、人糞尿以外は基肥として施し人糞尿の一部を基肥に殘りは追肥として二回位に施用するのが適當である、左に石城分場に於ける標準肥料を記し參考に供することとする、

肥料名堆肥反當總量三〇〇匁 基肥三〇〇匁
 大豆粕反當一〇匁 基肥一〇匁
 過磷酸反當五匁 基肥五匁
 木灰反當一五匁 基肥一五匁
 人糞尿反當三〇〇匁 基肥一〇〇匁 第一回追肥四月下旬一〇〇匁 第二回追肥五月下旬一〇〇匁
 反當三要素量 窒素三貫六百匁 磷酸二貫五百匁 加里三貫五百匁
 付記前述した品種に付き種薯の分級又は原産地の照會を求むるならば左記へ、

程土ヶ谷、横濱市程ヶ谷區峰岡町中村藤藏 又は神奈川縣横須賀市三浦郡農會男爵邸、北海道旭川郡七飯村七飯村農會 又は郡山市本町三丁目小林商店(取次) 岩手三號、岩手縣盛岡郡白山村白山村出荷組合 三國、青森縣南津輕郡中郷村青森縣立農試驗場(取次) アーローローズ、秋田縣山本郡樹村田中親次 アメリカンワンダー、北海道札幌市南一條西一三丁目ヤマト種苗農具株式會社札幌支店、



牛も豚も優良品の自慢

肉の御 三三屋 田町
 用命は 三三屋 田町

油問屋 關内油店

支店 平岡市駅前通 電話長八二三
 支店 平岡市長門三三 電話長八二三
 支店 茨城縣平岡市 電話長七三三
 支店 平岡市四丁目 電話長四三三
 支店 平岡市 電話長四三三

お醤油は ヤマフル

醤油味 眞 節約食料品
 山崎合名會社
 電話 一〇七〇番
 山崎與三郎

ランドセル 學生ボーン

女學生用手提カバン
 小學生用 クツ

● 總皮ランドセル大型 ¥ 75
 ● " " 極大型 ¥ 90
 ● 牛皮特撰ランドセル ¥ 8,00

ツルヤ
 平岡市 電話一四〇

婦人科 長木村寅次郎

外科 醫學博士 内木宗八
 藥局 藥劑師 立蓄彌一
 平岡市新川町九一
 入院隨意 病室完備
 本村病院
 電話一六四番

常磐モリス株式會社

福幸の主株
 一、年四分の報償金を差上げます(他に利益配當)
 一、一世帯式千圓迄御貸付致します(株券の倍額)
 一、御株券不用の場合には證券會社で引受致し引一、御貸付も返済も株主本意に御取致し引一、法律經濟の御相談は無料でお引受け致します
 本店同様營業を開始いたしました
 御利用下さい

平岡市 出張所
 内郷 出張所
 平岡市 出張所

店員、徒弟、募集廣告

小商店員 五名
 資格 年齢：十三才より十六才位まで
 學歴：尋常科卒業又は以上のこと
 優待方法 優待制度の外特別優待方法あり

徒 弟 拾名
 家具職として理想的製作方法を望む人
 資格 年齢：十三才より十六才位まで
 學歴：尋常科卒業又は以上のこと
 修業後の収入(ヶ月五十圓以上百圓位)
 ◎御希望者は至急御面談又は御問合せを乞ふ

和洋家具 製作販賣 設計請負
 丸はん商店
 製作所 平岡市新岡前 電話一八二番
 營業所 平岡市三丁目 電話三五九番

一般印刷物も御引受致します

新しいわき新聞社

家政婦派出

御手不足な御家庭に家政婦を派出致します
 本會は お互に働きませうと云ふ健康な婦人同志が相寄つて皆様の御便宜を勤めますために出来た團體です
 料金は御面談の上お望みに添ふ様御經濟向きに御相談致します
 平岡市新岡前二 上原家政婦會
 電話(呼)六五二 (直撥)上原 通子
 派出多忙に付會員募集

食品産業

非常時日本と婦人の職業
 近代日本は婦人にも經濟の獨立を呼かけて参りました、婦人の職業として産業看視婦人と云ふ業は最も似つかはしい天職で有ります
 卒業年限、僅か一ケ年
 開業すれば収益も多大で家政の内助ともなり家庭の人となつても直接役に立つのは此の産業看視婦であります
 戦争と日本婦人としての覚悟
 一日緩急あれば戦時看視婦として愛する母國への奉仕に努めませう

石城産業學校 平岡市一丁目
 校長 鷹崎千代

募集徒生

非常時日本と婦人の職業
 近代日本は婦人にも經濟の獨立を呼かけて参りました、婦人の職業として産業看視婦人と云ふ業は最も似つかはしい天職で有ります
 卒業年限、僅か一ケ年
 開業すれば収益も多大で家政の内助ともなり家庭の人となつても直接役に立つのは此の産業看視婦であります
 戦争と日本婦人としての覚悟
 一日緩急あれば戦時看視婦として愛する母國への奉仕に努めませう

石城産業學校 平岡市一丁目
 校長 鷹崎千代